チーム桜が丘、努力が実を結ぶ！

～日本各地で健闘、難関・北海道大にも合格～

進路ジャーナル

第 119 号

令和４年４月28日

編集発行

磐城桜が丘高等学校

進路指導部

印刷 ㈱ネクスト情報はましん

令和三年度　卒業生進路状況

進路指導部

国公立大学について

令和三年度、国公立大学合格者数は四十九名であった。学級減により、この学年から六クラスとなったが、七クラスあった頃の結果と比較しても遜色なく、受験生たちの努力がうかがえる結果である。

内訳として、国立大学には二十五名が合格した。近県では、福島大学に九名（特に理系の学部の合格者が一名→五名と急増）、茨城大学に七名、宮城教育大学、岩手大学、新潟大学に一名ずつが合格。また上位者では、学校推薦型選抜で筑波大学二名、東京学芸大学一名、一般選抜で北海道大学と千葉大学でそれぞれ一名ずつが合格を勝ち取った。鳥取大学の合格は、最後の最後まで努力した生徒が、後期試験でつかんだものだ。

公立大学には二十四名が合格した。特筆すべきは、県内の大学への合格者数である。県立医科大学について、看護学部では学校推薦型選抜で二名、一般選抜前期試験で二名、後期試験で一名、保健科学部では学校推薦型選抜、一般選抜で三名ずつ、計十一名合格しており、一昨年度一名、昨年度五名から大幅増である。また、過去二年間で合格者がなかった会津大学にも、三名が合格している。

国公立大学合格者は、学校推薦型・一般によらず、受験生として早いうちに腹をくくり、準備を他に先駆けて開始、努力を長期に継続できた生徒たちである。国公立大学合格を目指す諸君、先輩たちを見習おう。受験生としてのスタートを、君たちは切ることができているか。

私立大学について

私立大学合格者数も平年並みであり、学級減の影響を感じさせないものであった。とはいえ、私立大学の中での第一志望、特に、いわゆる難関・中堅と呼ばれる大学を狙い、実際に合格を勝ち取ることができたのは、やはり努力を継続し、十分に力をつけた受験生であった。学校推薦型選抜では、受験資格としての評定平均値の下限を高く設定していたり、英語検定二級取得を出願の条件としていたりする。また一般選抜でも、英語検定で上位の級を取得していると加点されるなどの優遇措置が多くみられる。つまりこれは、高校在学中にしっかりと努力できて、実際に結果を出せた生徒に対する、大学からのラブコールである。気の抜けた生活を送っている者は、大学側からは選ばれないのだ。

令和三年度 卒業生の強みとは

一定の結果を出した令和三年度卒業生たち、その強みは、学年全体が一つのまとまったチームへと成長し、皆で受験に向かう雰囲気を自分たちで醸成できたことであろう。

例えば、十月～十二月がヤマ場となる総合型・学校推薦型選抜に挑戦する受験生もいれば、共通テストから一般選抜の後期まで、一～三月がヤマ場となる受験生もいる。もちろん、一人ひとりが自身の学習に没頭するのだが、時期にかかわらず、そこでみんないっしょにがんばる雰囲気があると、気持ちも高まるし、力も出せる。逆に、「私の受験はまだまだ先だから」「オレもう受験終わっちゃってるし」という思いがあると、それは言葉にせずとも、態度に表れる。それは互いの気を削ぎ合い、大事な時に足を引っ張り合うような雰囲気となって広がる。そのような雰囲気を、今回の受験生たちは、自分たちで抑え込むことに成功した。自分が受験を終えているか否かにかかわらず、全員が合格するまで全員が受験生だという思いで、全員が最後まで取り組み続けた。これが、結果として表れたのだろう。

受験はチーム戦である。磐城桜が丘高校生諸君が、勝負の時までに、勝てるチーム、そして勝てる自分へと成長できるよう、これからの更なる努力に期待している。

新年度のスタートにあたって

進路指導主事　住吉　圭介

令和三年度も一昨年に引き続きコロナ禍に右往左往させられた一年となりました。学校行事や部活動の大会、社会の中で様々なものが中止になり、そこまでは行かなくても規模を縮小したり、方式を変更したりせざるを得ない状況が今でも続いています。しかしながら高校生の進路に対する状況は変わっていません。もちろんコロナ禍によって、オープンキャンパスが実施されなくなったり、学校推薦型選抜や総合型選抜等の面接やプレゼンテーションがリモートになったりと方法論的な面での変化はあります。しかし今皆さんが高校生として進路実現に向けてしなければならないことは、これまでと全く変わっていないのです。つまり、自分の望む人生を自分が望むように生きていけるようになるために必要な努力はコロナ禍があってもなくても同じということです。

自分が望む人生を生きるために必要なことは大きく二つです。一つは目標を持つこと、そして二つ目はその目標を実現できるだけの力を持つことです。非常に単純なことのように見えるし、皆さんもそんなことは分かっていると思うでしょうが、もう少し深く掘り下げて考えてみたいと思います。

まず目標を持つということは、自分がどんな人になって、どんな人生を生きたいかということです。お金持ちになりたいとか、有名人になりたいとかいうほんやりした目標ではなく、自分がこの社会の中でどのような職業に就き、どうやって金を稼いで、どんな風に生きていくのか、そしてどのように社会に貢献していくのかという具体的な目標です。よく目標はまだ決まっていませんと言う人がいますが、そういう人ほど目標を定める努力を怠っていることが多いものです。目標というものは決して空から降ってきたり、自分の中に自然に湧いてきたりするものではありません。人と話したり、様々なことを経験したり、文章を読んだりして多くの情報を自分の中に取り込むことによって、初めて自分の中に生まれてくるものです。目標は自分の努力によって得られるものなのです。

さらに、すでに目標は定まっているという人も、その目標は本当の意味で吟味された、自分にふさわしい目標なのかということを常に確認する必要があります。自分が学びたい学問や、就きたい職業をきちんと理解しているか、その目標が他者からの借り物であったり、表面的な理解にとどまっていないかを考えることは、自分がどう生きるかを考えることと同義です。大学に進学してから自分が思っていた学問ではないことに気づいたとか、就職してから思っていた仕事とは違うことに気付くといったいわゆるミスマッチは、そのような努力の不足から生まれるものだと思います。

そして、目標を定めた上でその目標を実現するために具体的な努力をすることも当然重要なことです。というのも目標がないまま努力をすることほど苦痛なことはないからです。昔ロシアやドイツなどで行われたと言われる「囚人の穴掘り」という刑罰があります。穴を掘ってはそのまま埋め戻せる、これを延々と繰り返すという単純なものです。しかし、人間にとって努力をしても何の成果も得られないことや、その努力を目の前であからさまに否定されること、そしてその努力の過程までも消滅してしまうことは苦痛以外の何物でもありません。そして目標を定めただけでそれを実現するための努力をしないこともまた、自分自身の人生を否定することにつながっていきます。

少し否定的な言い方が多くなりましたが、大切なのは目標を定めその実現に向けて努力すること、それらを両輪として前に向かって進んでいくことが自分の望む人生を生きることにつながっていくということです。皆さんは持っている目標も力も、そしてそれらの到達度も人それぞれです。今の自分自身を的確に分析し、今の自分に必要な努力をすること、言葉は単純ですが、そこにはこのような意味が含まれていると考えられるようになってください。健闘を祈ります。

■主な大学合格者数（現役生のみ）

	卒業年度（令和）		03	02	01
国立大学	帯広畜産大学				1
	北見工業大学				1
	室蘭工業大学			1	
	北海道大学		1		
	北海道教育大学				1
	弘前大学				1
	秋田大学			1	
	岩手大学		1	2	
	東北大学			1	
	宮城教育大学		1	1	1
	山形大学	人文社会科学部			
		地域教育文化学部			
		理学部		1	
		工学部			
		農学部			
	福島大学	行政政策学類		1	5
		経済経営学類	2	4	
		人間発達文化学類	2	1	8
		共生システム学類	4		
		食農学類	1	1	1
	茨城大学	人文社会科学部	2	2	3
		教育学部	2	4	
		理学部	2	1	1
		工学部	1		4
		農学部			
	筑波大学		2		2
	千葉大学		1		
	埼玉大学			1	
	東京学芸大学		1		1
	新潟大学		1	2	2
	富山大学			1	
	静岡大学			2	
	鳥取大学		1		
	長崎大学				1
	宮崎大学			1	
	琉球大学			2	
公立大学	釧路公立大学			2	4
	名寄市立大学			1	
	青森公立大学			3	1
	岩手県立大学		1	4	1
	宮城大学		1	2	1
	秋田県立大学			3	1
	山形県立米沢栄養大学			1	1
	山形県立保健医療大学			2	2
	福島県立医科大学	医学部			
		看護学部	5	2	1
		保健科学部	6	3	
	会津大学		3		
	埼玉県立大学			1	
	千葉県立保健医療大学				1
	横浜市立大学		1		
	群馬県民健康科学大学				1
	群馬県立女子大学			3	
	高崎経済大学		2	4	
	前橋工科大学			1	
	新潟県立大学			2	3
	長岡造形大学		1		
	公立小松大学		1		
	都留文科大学		1	3	
	山梨県立大学		1		1
	長野県立大学			1	
	公立諏訪東京理科大学			1	
	尾道市立大学			1	
	公立鳥取環境大学				1
	島根県立大学		1		
	名桜大学				1
国公立大学合計			49	70	53

	卒業年度（令和）	03	02	01
私立大学	東北学院大学	5	12	11
	東北福祉大学	5	7	9
	宮城学院女子大学		8	9
	東北工業大学	6	2	3
	医療創生大学(旧いわき明星)	32	26	38
	東日本国際大学	8	7	
	茨城キリスト教大学	20	8	11
	国際医療福祉大学	16	11	10
	自治医科大学	1		2
	白鷗大学	14	3	12
	女子栄養大学	2	1	1
	獨協大学	8		
	文教大学	1	4	6
	秀明大学	1	3	5
	千葉商科大学	1	2	6
	神田外語大学		5	1
	千葉工業大学	2	3	3
	青山学院大学	1	5	1
	大妻女子大学	2		
	学習院大学	1	1	
	北里大学	1	2	3
	共立女子大学			1
	慶應義塾大学		3	1
	国士舘大学	1		2
	駒澤大学		5	
	実践女子大学		1	2
	昭和女子大学	1		
	成蹊大学	3	3	1
	成城大学		1	
	専修大学	2	1	3
	大東文化大学	10	13	7
	拓殖大学	1		4
	津田塾大学	1	2	1
	帝京大学	9	5	7
	東海大学	18	3	8
	東京家政大学	2	2	2
	東京工科大学	1	1	1
	東京経済大学	2	5	2
	東京電機大学			1
	東京農業大学	1	3	4
	東京薬科大学			1
	東京理科大学	1	1	
	東洋大学	4	3	4
	日本大学	12	15	9
	日本体育大学	2	1	
	法政大学	1	6	2
	明治大学	1	2	4
	立教大学	1	2	2
	早稲田大学		1	
	神奈川大学	12	16	8
	新潟医療福祉大学	2		3
	その他の私立大学	132	131	141
私立大学合計		347	336	352

■国公立大学合格内訳

学校推薦型選抜	18
総合型選抜	0
前期試験	24
中期試験	1
後期試験	6
別日程	0
二次募集	0
追加合格	0
合計	49

『３年間を振り返って言えること』

令和３年度　３学年主任　川島　仁

自分の立ち位置を正しく把握して走り出す ⇒ トップ集団ではなく中盤の大集団後方

“新教研もぎテストの偏差値58の磐城桜が丘に合格したのだから、偏差値55～51の福島大学は楽勝さ”なんて考えて高校生活をスタートしたらとんでもないことになる。

（高校入試の偏差値）－10＝（大学入試の偏差値）は、地方では当たり前のことだ。本当に有名大学を目指すなら、全国の何万人という見えないライバルを追い抜かなければならない。逆に“のんびり”していると「あっ！」という間に何万人に抜き去られてしまう。なのに、いつまでも“のんびり”構えて、勉強時間を増やさない人が、非常に多かった。

１年生：国・数・英で苦手を作らない ⇒ ２年生：理科・地歴公民の勉強時間も確保

国公立大学を目指すなら文系・理系を問わず、国・数・英で苦手を作るべきではない。文系なら国・英を、理系なら数・英を得意科目にしたい。１年生時点で苦手が複数ある人は、国公立大学は厳しくなる。２年生では、秋までには５教科の勉強スタイルを軌道に乗せたい。模擬試験も２年生の後半からは５教科になる。ここで、理科・地歴公民でも得意科目として成果を発揮できるようであれば、難関大学を目指せる可能性が広がる。現に、ベネッセ総合学力テスト１月の化学で100点（全国１位）をとった人が、東京理科大学理学部第Ⅰ部応用化学科や、北海道大学総合入試理系化学重点（理学部化学科）へ合格した。

現役生は大学入試当日の朝まで学力が伸びる ⇒ 最後まで諦めずに粘り強く取り組む

国公立大学は、総合型・推薦・前期・中期・後期など、私立大学でも、総合型・推薦・共通テスト利用・個別など、同じ大学・学部・学科でも、複数回の受験機会を作ることができる。受ければ受けるほど受験料はかかるが、色々な受験の作戦を立てることができる。

（例１）「何が何でも福島大学だ！」「福島県立医科大学だ！」という人が、推薦でダメ、前期でダメで、後期で合格した！（ちなみに共生システム理工学類と看護学科です）

（例２）前期に１名は横浜国立大学、もう１名は千葉大学を受けてダメだったが、後期では、それぞれ茨城大学を押さえることができた！（ちなみに２名とも理学部化学科）

勉強の継続と共に作戦面も大切である。作戦は、保護者と担任の先生と一緒に考えよう！

令和四年度　大学入学共通テスト概況分析

令和四年度共通テストは、一月十五・十六日の二日間で実施された。今年度は、二〇二〇年度以前に比べ受験率がやや低く、前回に引き続き新型コロナ感染症の影響があったと言わざるを得ない。今年の追・再試験は、本試験の二週間後に実施され、受験者数が過去最多となった。

出題について、今年も昨年と同様、全体的に授業での学習プロセスや日常生活の場面を題材にした問題が目立った。会話文や生徒のノートの形をとった資料も散見された。問題文の読解に時間を要しただろう。重視されているのが、複数の資料、図などから情報を読み取って考察する力である点も、昨年と同様であった。ただし、昨年より丁寧な資料の読み取りが必要となっており、単に図表や資料を多用するのではなく、思考力を問うパーツとして資料、図表を活用していく姿勢はむしろ鮮明であったといえる。なお、数学や理科では単元をまたいだ融合問題もみられた。

解答形式にも共通テスト以降、新しい形式がみられる。理科では、センター試験時にはなかったような、数値を直接マークする設問が出題された。また、選択肢に「誤りを含むものはない」「両方とも当てはまらない」が含まれている設問、正解の数と組合せが異なる選択肢が並ぶ設問など、地歴公民、理科を中心に、より偶然の正解が起こりにくい解答形式がみられた。

大学入試センターが公表した共通テストの主な科目の平均点について、前年よりダウンした科目が目立ち、「数学Ⅰ・数学Ａ」「化学」「生物」「日本史Ｂ」など七科目がセンター試験時を通じて過去最低点となった。また、河合塾が推定するセンター試験・共通テストの七科目型平均点は、文系型（九百点満点）が五〇七点（前年差マイナス四十八点）、理系型（九百点満点）が五一〇点（前年差マイナス六十一点）と、前年から大きくダウンした。ただし、共通テストは試行調査の段階では平均点五割を想定し作問されていたこと、もともとセンター試験とは別の試験であるという視点に立ては、今後は今年の平均点に近い値で推移していくことも十分考えられるだろう。

（河合塾　Kei－Netより抜粋、一部改変）

令和４年度 大学入学共通テスト主要科目平均点

（第１日程）

教科・科目名		平均点 全国	平均点 本校	平均点 差
英語	リーディング	61.8	54.2	-7.6
	リスニング	59.5	55.1	-4.4
数学①	数学ⅠA	38.0	29.7	-8.3
数学②	数学ⅡB	43.1	31.1	-12.0
国語		110.3	109.7	-0.6
理科①	物理基礎	30.4	28.2	-2.2
	化学基礎	27.7	25.1	-2.6
	生物基礎	23.9	21.9	-2.0
	地学基礎	35.5	31.6	-3.9
理科②	物理	60.7	51.0	-9.7
	化学	47.6	36.5	-11.1
	生物	48.8	46.2	-2.6
地歴	世界史B	65.8	54.4	-11.4
	日本史B	52.8	48.5	-4.3
	地理B	59.0	52.6	-6.4
公民	現代社会	60.8	59.2	-1.6
	倫理	63.3	60.0	-3.3
	政治・経済	56.8	56.4	-0.4
総合	８科目文系型	509	471.8	-37.2
	７科目理系型	512	466.5	-45.5

※８科目文系型：英・数(２)・国・理(２)・地公(２)(900点満点)
※７科目理系型：英・数(２)・国・理(２)・地公(１)(900点満点)

第２学年のスタートにあたって

第２学年主任　岡　伸一郎

２年生の皆さん、進級おめでとうございます。早いもので君たちが入学してから１年が過ぎました。君たちにとって入学してからのこの１年間はあっという間だったと思います。さらにこの１年間を振り返ると勉強あるいは部活などに精一杯頑張ったなと感じている人もいれば、もう少し頑張れたなと思ったり、何となく過ごしちゃってこれといって何も満足できるものが無いなと後悔の念を感じている人もいるでしょう。入学してからこれまでの１年間、毎日をどう過ごすのかを自分で決定し、行動し、そしてその結果として現在の自分（今の成績）が有るわけです。さらに言えば１年後、２年後の未来の自分をつくっていくのは、これからの毎日をどう行動するか、それを意思決定する自分なのです。どんな結果であっても、他人にどう言われようと、最終的には自分で選択し自分で行動を決定することになります。結果について他人のせいにはできません。すべて自己責任です。そのとき決して言い訳はしないでください。やらない理由、できない理由は作ろうと思えばいくらでもつくることができます。「○○だからできない」と自分に言い訳するのか、言い訳せず「○○だけどやる」のか、選択するのも自分です。学年集会でも話しましたが自分の選択肢が複数あるとき、自分にとって困難な道を選択し、挑戦してほしいと思います。自分はこの程度と自分の限界を自分で決めてしまうと、決してそれを超えることはできません。努力をしないで、学びたい学問や将来の夢よりも、行ける大学はどこかと考えてしまう人がいますが、行ける大学から行きたい大学へ意識を変えて下さい。大学入試に向けて基礎学力はもちろん大切ですが、それ以上に学習を通して困難なこと、嫌いなことからも逃げない姿勢を身に付けてほしいと思います。今後の人生での多くの困難に立ち向かう強さを持って下さい。

また、様々な情報をもとに自分の進路を具体的にしていかなければなりません。１年生で始めた大学研究をさらに深めて、学部・学科情報を集めると同時に、自分の興味や適性についてもじっくりと考えておく必要があります。２年生の夏休みは是非、オープンキャンパスに足を運んで下さい。現在の新型コロナウィルス感染状況から見通せないこともありますが可能な限りリモートではなく現地に足を運んでほしいと思います。志望大学に直接行って、キャンパスの雰囲気を直に体験して下さい。模擬授業や受験相談会に参加してみるのも良いと思います。

現行の教育課程は君たちの学年が最後で、新１年生の年代から新教育課程に変わり、それに伴って大学入学共通テストも出題科目の変更があることも知っていると思います。特に大きい変更点は情報の教科が出題されることではないでしょうか。もし浪人したとすると共通テストで情報を受験しなければならないかもしれません。大きな負担となるのが予想されるので君たちと同じ年代の高校２年生は現役合格を目指しているのは間違いありません。競争に負けないようしっかりと実力を養成してほしいと思います。

今年度は、桜丘祭・修学旅行など大きな行事を抱えています。学校生活でも中堅学年として３年生を助け１年生を指導する重要な立場となります。自己管理をしっかりと行い、「希望の風」に後押しされながら、充実した一年間を過ごして下さい。

自分を信じて

第３学年主任　今村　義泰

３年生の皆さん、いよいよ高校生活も最後の一年となりました。入学以来思い描いてきた進路目標達成に向けて、全力を傾ける１年のスタートです。そこで必要なことは「準備」「習慣」「計画」です。

まず１つ目に次の３つの「準備」から始めよう。

準備①　まずは今の自分の学力を確認しておこう

最初にやってみて欲しいのは、自分のスタート位置がどこなのかを知ること。模試の結果などを参考に重点を置くべき科目や必要な勉強量を知ろう。

準備②　志望する大学や学部はある程度絞っておこう

大学受験では、受験勉強をきちんと計画立てて進めていくことが合格への近道です。志望大学や学部を絞ってより具体的な学習計画を立てよう。

準備③　受験勉強に集中する時間を確保できるか考えてみよう

大学受験を目指す高校３年生にとって、受験勉強は生活の一部となります。集中して勉強し続けるためにも、勉強時間の確保が必須です。すきま時間などを有効活用しよう。

２つ目として、受験生としての「生活習慣」を確立しよう。睡眠や食事などの生活習慣を整えて、効率よく受験勉強を進めていくための生活のベースを作ろう。

ポイント①　しっかり睡眠をとろう

生活習慣の基本として、まずは睡眠時間の確保が大切です。「自分は今学力が足りていないから睡眠時間を削ってでも勉強しなければ」などと思わないようにしよう。

ポイント②　スケジュールにメリハリをつけよう

受験勉強は、ただ漫然と長い時間勉強し続ければ良いわけではありません。これから１年間という長い期間をかけて勉強を進めていくので上手に息抜きの時間を設けよう。

ポイント③　食生活を整えよう

健康的な食生活を送ることも、受験生として重要です。決まった時間に食事を取ることで生活リズムを整え、規則正しい勉強スケジュールを立てよう。

ポイント④　適度に運動しよう

受験本番は１～２月。冬の寒さはもちろん、風邪やインフルエンザ、コロナウイルスの影響も心配です。受験シーズンを乗り切るために日頃から運動をして体力をつけておこう。

ポイント⑤　悩み事はすぐに相談してメンタルケアしよう

受験生にとって、自分自身の感情をうまくコントロールすることも重要です。悩み事があれば友達や家族にすぐに相談してみるなど、不安を言葉にして吐き出すようにしよう。

３つ目として、ゴールから逆算して「受験勉強計画」を立てよう。いきなり日ごとの細かな計画を立てるのではなく、まずは学期ごと等の大まかなスパンでスケジュールを立てた後、１ヶ月、１週間、１日ごとの学習計画に落とし込んでみよう。

さあ、いよいよ勝負の１年が始まります。「努力は必ず報われる」ことを信じて、そして何より「自分を信じて」夢を叶えてください。

３つの目

第１学年主任　大和田好倫

１　はじめに

１年生の皆さん、入学おめでとうございます。入学したばかりの皆さんに、ちょっと難しいかもしれませんが、「３つの目」についてお話します。もちろん本校に入学した皆さんならば決して理解できない話ではありません。皆さんには是非この３つ目をバランスよく養っていただき、自分の希望進路を実現し羽ばたいてほしいと思います。では「３つの目」とは？すなわち「鳥の目」「虫の目」「魚の目」です。

２　鳥の目

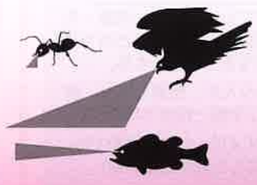
突然ですが、皆さんを取り巻く状況は理解できていますか？例えば、新しい学習指導要領がスタートします。皆さんの学力向上に必要である観点別学習状況の評価が明示されます。そのほかにも成人年齢の18歳引き下げ、そしてコロナ禍３年目（これらの知識は理解できていてほしいものです。）など。このように画期的な時期に高校へ入学した皆さんは、広い視点から自分が置かれた状況を把握し、３年後の自分を見据え、長期的な目標を明確にすることが大切なのです。「鳥の目」とはすなわち大空を飛び回る鳥の俯瞰的な視点のことです。そして、目標を実現するためには、今何をやらなければならないか？次に「虫の目」が必要となるわけです。

３　虫の目

「虫の目」とは、文字通り小さな虫が見る視点のことです。すなわち、今、自分が置かれている目の前の状況を分析して、より現実的で短期的な目標を設定する力のことです。入学したばかりとは言え、６月には来年度の文型、理型選択科目を決めなければなりません。３年後の目標を見据えながらも、自分の適性や資質を適切に把握できなければならないのです。そのために、「総合的な探究の時間」で取り組む「自己探求」、さらには、保護者や友人など自分以外の第３者の意見にも真摯に耳を傾け、自己分析に励んでほしいと思います。文理選択を誤ると悲劇が待っていますよ。

４　魚の目

「魚の目」とは、魚のように激しい流れの中で泳ぐための先を見通す視点です。すなわち未来的な目標といえます。皆さんが生きる社会は、これまでの世代が経験しなかったような激しい変化の波に晒されることでしょう。テクノロジーの進歩や急速なデジタル化はもとより、環境問題・エネルギー問題など、地球規模のグローバルな課題。これらの課題には「絶対的正解」はありません。つまり、その問題に応じた「最適解」を見つけていく柔軟でたくましい思考力を育んでいくことが重要になります。



５　さいごに

これらの「３つの目」を養うために必要なアクションは日々の「学習」です。授業はもちろん、部活や家庭、地域で常に学び続けることが大切なのです。素直に、誠実に、そして常に前向きに学習に取り組み、一日一日を大切に歩んで参りましょう。３年間はあっという間です。自分自身を的確に把握し、人生の目標を打ち立て、どんな変化にも柔軟に対応できるようになった皆さんの３年後を楽しみにしております。